

だんだん 介護職員初任者研修講座カリキュラム及び日程表

カリキュラム

科 目		講義 演習 (時間数)	通信 (時間数)	時間数 (合計)
1	職務の理解	6H	0H	6H
2	介護における損現の保持・自立支援	1.5H	7.5H	9H
3	介護の基本	3H	3H	6H
4	介護・福祉サービスの理解と医療との連携	1.5H	7.5H	9H
5	介護におけるコミュニケーション技術	3H	3H	6H
6	老化の理解	3H	3H	6H
7	認知症の理解	3H	3H	6H
8	障害の理解	1.5H	1.5H	3H
9	こころとからだの しくみと生活支援 技術	I 基本知識の学習	3H	12H
		II 生活支援技術の学習	45H	54H
		III 生活支援技術演習	12H	12H
10	振り返り	4H	0H	4H
合 計		92.5H	40.5H	133H

修了評価

筆記試験	1H
------	----

スケジュール

	通学 時間帯	科目 時間数	区 分	科 目
1日目	18:30~ 21:30	3H	講義	1 職務の理解 (1) 多様なサービスの理解
2日目	18:30~ 21:30	3H	講義	1 職務の理解 (2) 介護職の仕事内容や働く現場の理解
3日目	18:30~ 21:30	3H	講義	2 介護における尊厳の保持・自立支援 (1) 人権と尊厳を支える介護 (2) 自立に向けた支援 4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 (1) 介護保険制度 (2) 医療と連携とリハビリテーション (3) 障害者自立支援制度及びその他制度
4日目	18:30~ 21:30	3H	講義	3 介護の基本 (1) 介護職の役割専門性と他職種との連携 (2) 介護職の職業倫理 (3) 介護職における安全確保とリスクマネジメント (4) 家族への支援
5日目	18:30~ 21:30	3H	講義	5 介護におけるコミュニケーション (1) 介護におけるコミュニケーション (2) 介護におけるチームワークのコミュニケーション
6日目	18:30~ 21:30	3H	講義	6 老化の理解 (1) 老化に伴うところとからだの変化と日常生活 (2) 高齢者と健康
7日目	18:30~ 21:30	3H	講義	7 認知症の理解 (1) 認知症を取り巻く状況 (2) 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理 (3) 認知症に伴うところとからだの変化と日常生活 (4) 家族への支援

8日目	18:30~ 21:30	3H	講義 演習	9 ころとからだのしくみと生活支援技術 I 基本知識の学習 (1) 介護の基本的な考え方
9日目	18:30~ 21:30	3H	講義 演習	9 ころとからだのしくみと生活支援技術 I 基本知識の学習 (2) 介護に関するころのしくみの基礎的理解
10日目	18:30~ 21:30	3H	講義 演習	9 ころとからだのしくみと生活支援技術 I 基本知識の学習 (3) 介護に関するからだのしくみの基礎的理解
11日目	18:30~ 21:00	2.5H	講義 演習	9 ころとからだのしくみと生活支援技術 II 生活支援技術の講義・演習 (4) 生活と家事-1
12日目	18:30~ 21:00	2.5H	講義 演習	9 ころとからだのしくみと生活支援技術 II 生活支援技術の講義・演習 (4) 生活と家事-2
13日目	18:30~ 21:00	2.5H	講義 演習	9 ころとからだのしくみと生活支援技術 II 生活支援技術の講義・演習 (5) 快適な居住環境整備と介護-1
14日目	18:30~ 21:00	2.5H	講義 演習	9 ころとからだのしくみと生活支援技術 II 生活支援技術の講義・演習 (5) 快適な居住環境整備と介護-2
15日目	18:30~ 21:00	2.5H	演習 演習	9 ころとからだのしくみと生活支援技術 II 生活支援技術の講義・演習 (6) 整容に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護-1
16日目	18:30~ 21:00	2.5H	講義 演習	9 ころとからだのしくみと生活支援技術 II 生活支援技術の講義・演習 (6) 整容に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護-2
17日目	18:30~ 21:00	2.5H	講義 演習	9 ころとからだのしくみと生活支援技術 II 生活支援技術の講義・演習 (7) 移動・移乗に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護-1

18日目	18:30~ 21:00	2.5H	講義 演習	9 ところとからだのしくみと生活支援技術 Ⅱ 生活支援技術の講義・演習 (7) 移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護-2
19日目	18:30~ 21:00	2.5H	講義 演習	9 ところとからだのしくみと生活支援技術 Ⅱ 生活支援技術の講義・演習 (8) 食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護-1
20日目	18:30~ 21:00	2.5H	講義 演習	9 ところとからだのしくみと生活支援技術 Ⅱ 生活支援技術の講義・演習 (8) 食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護-2
21日目	18:30~ 21:00	2.5H	講義 演習	9 ところとからだのしくみと生活支援技術 Ⅱ 生活支援技術の講義・演習 (9) 入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護-1
22日目	18:30~ 21:00	2.5H	講義 演習	9 ところとからだのしくみと生活支援技術 Ⅱ 生活支援技術の講義・演習 (9) 入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護-2
23日目	18:30~ 21:00	2.5H	講義 演習	9 ところとからだのしくみと生活支援技術 Ⅱ 生活支援技術の講義・演習 (10) 排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護-1
24日目	18:30~ 21:00	2.5H	講義 演習	9 ところとからだのしくみと生活支援技術 Ⅱ 生活支援技術の講義・演習 (10) 排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護-2
25日目	18:30~ 21:00	2.5H	講義 演習	9 ところとからだのしくみと生活支援技術 Ⅱ 生活支援技術の講義・演習 (11) 睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護-1
26日目	18:30~ 21:00	2.5H	講義 演習	9 ところとからだのしくみと生活支援技術 Ⅱ 生活支援技術の講義・演習

				(11) 睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護-2
27日目	18:30~ 21:00	2.5H	講義 演習	9 ところとからだのしくみと生活支援技術 Ⅱ 生活支援技術の講義・演習 (12) 死にゆく人に関連したところとからだのしくみと終末期介護-1
28日目	18:30~ 21:00	2.5H	講義 演習	9 ところとからだのしくみと生活支援技術 Ⅱ 生活支援技術の講義・演習 (12) 死にゆく人に関連したところとからだのしくみと終末期介護-2
29日目	18:30~ 21:30	3H	講義 演習	9 ところとからだのしくみと生活支援技術 Ⅲ 生活支援技術演習 (13) 介護過程の基礎的理解-1
30日目	18:30~ 21:30	3H	講義 演習	9 ところとからだのしくみと生活支援技術 Ⅲ 生活支援技術演 (13) 介護過程の基礎的理解-2
31日目	18:30~ 21:30	3H	講義 演習	9 ところとからだのしくみと生活支援技術 Ⅲ 生活支援技術演 (14) 総合生活支援技術演習-1
32日目	18:30~ 21:30	3H	講義 演習	9 ところとからだのしくみと生活支援技術 Ⅲ 生活支援技術演 (14) 総合生活支援技術演習-2
33日目	18:30~ 21:30	3H	講義 演習	10 振り返り (1) 振り返り
34日目	18:30~ 21:00	2.5H	講義 演習	8 障害の理解 (1) 障害の基礎的理解 (2) 障害の医学的側面、生活障害、心理、行動の特徴、かかわり支援などの基礎的知識 (3) 家族の心理、かかわり支援の理解 10 振り返り (2) 就職への備えと研修修了における継続的な研修
35日目	18:30~ 19:30	1H	テスト	修了評価 修了テスト

	20:00			テスト結果発表
--	-------	--	--	---------

添削指導及び面接の指導方法

講義を通信の方法によって行う地域

八代市・八代郡・宇城市・宇土市

通信課程の教材

介護職員初任者研修テキスト（財団法人介護労働安定センター）

添削指導の手順

1. 別紙日程により課題を提出
郵便、FAX での提出
〒869-4203 熊本県八代市鏡町鏡 553 番地 4
TEL/FAX 0965-43-8007
2. 添削指導担当者による個人答案の採点
3. 各課題設問の正解率を表に作成
4. 面接指導者に答案と設問の正誤率を送付

面接指導の手順

1. 面接指導者は事前にテキスト及び課題を確認し、送付された答案を検証する。
 2. 面接指導日に答案と各課題解説集を返却。
 3. 正解率の低い設問については詳細に説明し、質疑応答を受ける。
 4. 専門的な見地から、面接指導者は科目における重要事項の説明をする。
- ※ 別に総合的な質問の出来る時間を設定し、また質問用紙を配布し、随時質問が可能な体制を取る。

修了評価の方法

出題範囲

- ・科目(1)職務の理解から科目(9)こころとからだのしくみと生活支援技術

出題形式

- ・正誤選択形式・語句選択形式 等

出題数

- ・50問

合否判定基準

- 100点を満点としてA(90点以上)、B(89~80点)、C(79~70点)、D(70点未満)の区分で評価する。C評価以上を合格とし、D評価は不合格とする。

不合格者について

- D評価を得た者は、補講、再評価を実施する。
補講費用 3.000円 再評価費用 2.000円